



栗原小だより

〒123-0843 足立区立西新井栄町 2-10-18

<https://www.adachi.ed.jp/adkuha/>

令和 7 年度

5 月号

足立区立栗原小学校

校長 山本 洋

TEL 3887-6391

ルールは必要？

副校長 横山 謙悟

先日、さくら参道(西新井駅と都道 461 号をつなぐ道路)で交通事故がありました。近隣の方から本校に連絡があり、パン屋・八百屋の前辺りにある信号のない横断歩道に職員が向かいました。被害にあったのは近隣の小学校の児童で、救急隊員が応急手当を行っていました。幸い、命に別状はありませんでした。片方の車線を走っていた自動車が止まってくれたため、兄弟で横断歩道を正しく渡っていたところ、反対車線の自動車が停止しなかったためぶつかってしまったとのことでした。

本校では、子供だけで信号のない横断歩道を渡ることは原則禁止しています。児童が正しい行動をしていても、事故に巻き込まれることもあります。多少遠回りでも信号のある横断歩道を渡ることによって、できる限り安全を確保できるようにと考えられたルールです。

「ルール」は、「行動を縛り付けるもの」と考えられがちです。ルールが多かったり縛り付けが強かったりすると、自由が奪われ大変息苦しくなる反面、ルールが無いと、



主事さんが、今年も 2 階の踊り場に飾ってくれました。季節を感じることは、毎日を彩りのある生活にしてくれま
すね。感謝！

個々の価値観がぶつかり合い、自分さえ良ければそれで良いという考え方が横行します。ルールを守ろうとすると、それぞれが少しずつ我慢を強いられるため、100%の満足感を得ることは難しくなります。しかし、ルールを守らなくて良いのであれば、100%の満足感を得る人がいる一方で、少しもその感覚を味わうことができない人もいることになります。ルールは、「ほどよい満足感や充実感を得て、全員が快適に生活を送るための約束」と言えるのではないのでしょうか。

なぜ、そのルールがあるのか、そのルールを守らなかったときにどのようなことが起こり得るのかを見据えることができるようにするとともに、自分自身が納得してルールを遵守した行動がとれるよう指導してまいります。

◆◆◆◆◆1年生を迎える会◆◆◆◆◆

22 日(火)に「迎える会」が行われました。担任から名前を呼ばれると、元気よく返事をする姿が見られました。1年生からの言葉も堂々と発表でき、立派でした。会の後には、2年生からのプレゼントに大喜びで、何度も楽しそうに遊ぶ姿が印象的でした。「楽しかった。」「うれしかった。」と笑顔があふれ、心温まるすてきな時間となりました。

1 年担任

